

2025年公共図書館電子図書館アンケート

【1】ご回答図書館のプロフィール記載

ご回答館（者）についてご記入ください

※Q1 1-1、Q2 1-2、Q7 1-7 は記入（選択）必須となります。

Q1 【1-1】 貴図書館名（必須）

Q2 【1-2】 都道府県(プルダウン選択)(必須)

Q3 【1-3】 ご担当者お名前（任意）

Q4 【1-4】 ご連絡先メールアドレス（メール形式、半角英数字でご入力ください）

Q5 【1-5】 部署名

Q6 【1-6】 電話番号

Q7 【1-7】 図書館所在の自治体区分

選択肢から選択ください（一つ選択、回答必須）

- (1) 都道府県立図書館
- (2) 政令市立図書館
- (3) 特別区立図書館（東京都）
- (4) 人口 20 万以上の市立図書館
- (5) 人口 20 万未満の市立図書館
- (6) 町村立図書館
- (7) 条例図書館以外（公民館図書室等）

Q8 【1-8】 アンケート集計資料の送付方法について

選択肢から選択ください（一つ選択）

※ご回答下さった図書館でメールアドレスご記入の図書館には、メールアドレス宛てにアンケートの集計結果をお送りいたします

- (1) メールによる送付を希望（メールアドレス必須）
- (2) 送付不要

※個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、アンケート結果案内、図書館における電子書籍サービスのセミナーの案内、「電子図書館・電子書籍サービス調査報告」のセミナー及び案内で使用する以外は利用いたしません。

また、個人情報についての、訂正、変更、削除等のお問い合わせは、電流協事務局にご連絡ください。

※このアンケートの用語の説明について

このアンケートで使われる用語については、アンケートとは別途の「図書館の電子書籍に関する用語の説明」をご参照ください。用語の説明については引き続き更新し、電流協ホームページで参照できるようにいたします。

【2】電子図書館サービスについて

Q9【質問 2-1】

「電子図書館サービス」として導入しているものがありましたら、選択肢から選択ください（複数選択可）

※このアンケートにおいて「電子図書館サービス」とは、(1) 電子書籍サービス（オーディオブックサービス含む）、(2) 電子雑誌サービス、(3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス、(4) データベース提供（新聞データベース等）、(5) デジタルアーカイブの提供、(6) 音楽・音声配信サービスとなります。

その他の「電子図書館サービス」については、「その他」に具体的にご記入ください。

※Web での図書検索・貸出予約サービス、OPAC 検索は、このアンケートの「電子図書館サービス」には含まれていません

- (1) 電子書籍サービス（例：LibrariE&TRC-DL、OverDrive、KinoDen、エルシエロ・オトバンク、LibrariE 等）
 - (2) 電子雑誌サービス（例：TRC-DL マガジン 等）
 - (3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
 - (4) オンラインデータベース提供サービス（例：朝日新聞クロスサーチ、ヨミダス、日経 BP 記事検索サービス、医中誌 Web 等）
 - (5) デジタルアーカイブの提供（例：ADEAC、AMLAD、独自に開発・運用 等）
 - (6) 音楽・音声情報配信サービス（例：ナクソス・ミュージック・ライブラリー、国立国会図書館歴史的音源提供サービス 等）
 - (7) その他（記載）
-

Q10【質問 2-2】

・Q9 質問 2-1 で (1)「電子書籍サービスを導入している」を選択した図書館についてうかがいます。電子書籍サービスの外部事業者を、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) LibrariE&TRC-DL（図書館流通センター（日本電子図書館サービスコンテンツ、TRC 独自コンテンツ）
 - (2) OverDrive（メディアドゥ）
 - (3) エルシエロ・オトバンク（京セラコミュニケーションシステム・オトバンク）
 - (4) KinoDen（Kinokuniya Digital Library）（紀伊國屋書店）
 - (5) LibrariE（紀伊國屋書店（日本電子図書館サービスコンテンツ））
 - (6) EBSCO eBooks（EBSCO Japan）
 - (7) Maruzen eBook Library（丸善雄松堂、図書館流通センター）
 - (8) その他（記載）
-

Q11【質問 2-3】

電子書籍サービスを導入していない（Q9 質問 2-1 で(1)を選択していない）図書館についてうかがいます。

今後電子書籍サービスを導入する予定がありますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 電子書籍サービスを導入する予定が具体的にある
 - (2) 電子書籍サービスの導入を検討中（現時点では電子書籍サービスを導入検討の結論に至らないが、引き続き業界動向等の情報収集を行っている）
 - (3) 電子書籍サービスを導入する予定はない
 - (4) その他（記載）
-

Q12【質問 2-4】

・Q9 質問 2-1 で (1)「電子書籍サービスを導入している」を選択した図書館についてうかがいます。
電子書籍サービスを導入して図書館の規程等の改正は行いましたか、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- (1) 図書館設置条例を改正した
 - (2) 図書館設置条例の改正を検討中
 - (3) 図書館の運営に関する規程等を改正した
 - (4) 図書館の運営に関する規程等の改正を検討中
 - (5) 図書館資料の収集方針・選定基準を改正した
 - (6) 図書館資料の収集方針・選定基準の改正を検討中
 - (7) 上記のいずれの改正も検討していない
 - (8) その他（記載）
-

Q13【質問 2-5】

電子図書館サービスで、今後導入を検討しているサービスについて、選択肢からご選択ください（複数回答可）

※すでに導入しているサービス（Q9 質問 2-1 で選択したサービス）は除きます

- (1) 電子書籍サービス
 - (2) 電子雑誌サービス
 - (3) 国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
 - (4) オンラインデータベース提供サービス
 - (5) デジタルアーカイブの提供
 - (6) 音楽・音声情報配信サービス
 - (7) その他（記載）
-

Q14【質問 2-6】

「電子書籍サービス」の利用者にとってのメリットについて、選択肢からご選択ください（複数選択可）

※電子書籍サービスをすでに導入している図書館→評価できる機能

※電子書籍サービスをまだ導入していない図書館→期待する機能

- (1) 図書館に来館しなくても電子書籍が利用（閲覧）できる機能
 - (2) 文字のテキスト読み上げ機能（TTS 機能）
 - (3) 音声電子書籍の提供（オーディオブック、リードアロング等）
 - (4) 文字拡大機能
 - (5) フォント（文字の種類）を選択できる機能
 - (6) 外国語（多言語）電子書籍の提供
 - (7) 文字と地の色の反転機能（読書障害者等への対応）
 - (8) マルチメディア機能（映像や音声、文字などのリッチコンテンツ提供）
 - (9) 電子書籍の紙出力による提供機能（コンテンツのプリントアウト）
 - (10) 必要な情報発見の検索機能（電子書籍・コンテンツ検索等）
 - (11) その他（記載）
-

Q15【質問 2-7】

「電子書籍サービス」の図書館側のメリットについて、選択肢からご選択ください（複数選択可）

※電子書籍サービスをすでに導入している図書館→評価できる機能

※電子書籍サービスをまだ導入していない図書館→期待する機能

- (1) 貸出・返却・予約業務の自動化
 - (2) 図書館サービスのアクセシビリティ対応（障害者差別解消法、読書バリアフリー法等への対応）
 - (3) 書架スペース問題の解消
 - (4) 汚破損・紛失の回避
 - (5) その他（記載）
-

【3】「電子書籍サービス」を導入している図書館への質問

Q16 質問 3-1～Q35 質問 3-20 は電子書籍サービスを導入している図書館（Q9 質問 2-1 で（1）を選択）の方がお答えください。

※電子書籍サービスを導入していない図書館（Q9 質問 2-1 で（1）を選択しなかった図書館）の方は【3】の Q16 質問 3-1～Q35 質問 3-20 は回答せず、【4】の Q36 質問 4-1 からご回答ください。

Q16 【質問 3-1】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

2024 年度の「電子書籍サービスの運営費と電子書籍コンテンツ」の費用の合計を、選択肢からご選択ください（一つ選択）

※ご回答可能な範囲で結構です

- (1) 100 万円未満
 - (2) 100 万円以上～500 万円未満
 - (3) 500 万円以上～1,000 万円未満
 - (4) 1,000 万円以上～2,000 万円未満
 - (5) 2,000 万円以上
 - (6) その他（記載）
-

Q17 【質問 3-2】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

2024 年度の電子書籍サービスの費用のうち「電子書籍（コンテンツ）」の費用について、選択肢からご選択ください。（一つ選択）

※ご回答可能な範囲で結構です

- (1) 50 万円未満
 - (2) 50 万円以上～100 万円未満
 - (3) 100 万円以上～300 万円未満
 - (4) 300 万円以上～500 万円未満
 - (5) 500 万円以上～1,000 万円未満
 - (6) 1,000 万円以上
 - (7) その他（記載）
-

Q18【質問 3-3】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の運用における課題について、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- (1) 電子図書館運用予算
 - (2) 電子書籍サービスを運用するための知識
 - (3) 電子図書館担当者の問題
 - (4) 電子書籍サービス利用者のニーズ
 - (5) 電子書籍サービスで提供される電子書籍等コンテンツ
 - (6) 電子書籍サービスの費用対効果
 - (7) 電子書籍サービスの継続
 - (8) 利用者に対する電子書籍サービスの説明
 - (9) 電子図書館の広域連携
 - (10) その他（記載）
-

Q19【質問 3-4】

・Q18 質問 3-3 で (5)「電子書籍サービスで提供される電子書籍等コンテンツ」を選択した図書館にうかがいます。

電子書籍コンテンツ（以下、コンテンツ）について懸念することについて、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 提供されているコンテンツのタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) ベストセラーが電子書籍サービス向けに提供されない
 - (4) 電子書籍案内ページが、目が不自由な人や外国人住人への対応が不十分
 - (5) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (6) コンテンツの価格
 - (7) コンテンツ購入（提供）費用の会計処理の基準
 - (8) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (9) コンテンツの選書
 - (10) 読み上げ機能が不完全
 - (11) 書誌情報が十分でない
 - (12) 電子書籍読み放題パックの種類が少ない
 - (13) その他（記載）
-

Q20 【質問 3-5】

・Q19 質問 3-4 で (1)「提供されているコンテンツのタイトル数が少ない」を選択した図書館にうかがいます。

どのようなジャンルのコンテンツが必要と考えますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 文芸書・小説・ライトノベル（ラノベ）
 - (2) 実用書
 - (3) ビジネス書（資格・検定試験関係の本は（15））
 - (4) 専門書（ビジネス書以外）
 - (5) 学習参考書
 - (6) 児童書・絵本
 - (7) 図鑑、年鑑
 - (8) 辞書・辞典
 - (9) マンガ（学習マンガ含む）
 - (10) 雑誌
 - (11) 一般新聞
 - (12) 子供新聞
 - (13) 地元関係の本
 - (14) 外国語コンテンツ
 - (15) 旅行ガイド
 - (16) 資格・検定試験関係の本
 - (17) その他（記載）
-

Q21 【質問 3-6】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

現在の「電子書籍サービス」の利用者の登録率（対人口比）を、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 1%～9%
 - (2) 10%～19%
 - (3) 20%～29%
 - (4) 30%～49%
 - (5) 50%以上
 - (6) 図書館利用登録者は全員利用可能
 - (7) 不明・わからない
 - (8) その他（記載）
-

Q22【質問 3-7】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の利用実績の多い世代について、主な世代を、選択肢から 3 つご選択ください
(わかる範囲で、3 つ以下でも結構です)

- (1) 12 歳未満
 - (2) 12 歳～19 歳
 - (3) 20 代
 - (4) 30 代
 - (5) 40 代
 - (6) 50 代
 - (7) 60 代
 - (8) 70 代以上
 - (9) その他 (記載)
-

Q23【質問 3-8】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

貴館の「資料収集方針」「選書基準」等において、電子書籍の選書する基準を設けていますか、選択肢からご選択ください (複数選択可)

- (1) 紙の書籍に関する選書基準を準用している
 - (2) 電子書籍の選書基準を設けている
 - (3) 電子書籍の選書基準は設けていない
 - (4) その他 (記載)
-

Q24【質問 3-9】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

2024 年度末度の利用 (閲覧) 可能な電子書籍コンテンツの数を (1) にご記入ください。また、コンテンツ数のうち、購入した商用電子書籍コンテンツ数 (2)、商用電子書籍コンテンツ以外のコンテンツ数 (3) がわかりましたら、(2) (3) にご記入ください。

※商用電子書籍コンテンツ以外とは、青空文庫や貴館が電子書籍化した資料・本など
※わかる範囲で結構です

- (1) 利用 (閲覧) 可能な電子書籍コンテンツ数 [] コンテンツ
- (2) (1) のコンテンツ数のうち、購入した商用電子書籍コンテンツ数 [] コンテンツ
- (3) (1) のコンテンツ数のうち、商用電子書籍コンテンツ以外のコンテンツ数 [] コンテンツ

Q25【質問 3-10】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

2024 年度の電子書籍の利用（貸出数・閲覧数）件数をご記入ください（件数記入）

※利用（閲覧）件数が不明の場合は記載しなくて結構です

・合計利用（貸出数・閲覧数）件数 []件

Q26【質問 3-11】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

電子書籍サービスの提供にあたり、現在（2025 年）「電子書籍読み放題パック」を導入していますか、
選択肢（1）（2）からご選択ください。

また、「電子書籍読み放題パック」導入している場合（（1）を選択）、導入している電子書籍読み放題
パック数を（3）にご記入ください。

- (1) 電子書籍読み放題パックを導入している
- (2) 電子書籍読み放題パックは導入していない
- (3) 電子書籍読み放題パックを導入している（（1）を選択）している場合、導入しているパック数
電子書籍サービスパック導入数 []パック

Q27【質問 3-12】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」を導入後の図書館運営者側の感想を、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 計画（予想）よりも、利用（閲覧）件数、利用者数が多い
 - (2) 計画（予想）通りの利用（閲覧）数、利用者数である
 - (3) 計画（予想）よりも、利用（閲覧）件数、利用者数が少ない
 - (4) その他（記載）
-

Q28【質問 3-13】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の運用・管理について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 運用・管理は予定通りである
 - (2) 運用・管理が煩雑で負担が大きい
 - (3) その他（記載）
-

Q29【質問 3-14】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の利用者からの問い合わせについて、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 利用者（利用可能住民）から図書館への問い合わせが多い
 - (2) 利用者（利用可能住民）から図書館への問い合わせは少ない
 - (3) その他（記載）
-

Q30【質問 3-15】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

貴図書館の「独自資料」、地元地域の出版社や新聞社、著者と協力した「電子書籍」（以下、「地元電子書籍」）を電子書籍として搭載していますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

また、「独自資料」「地元電子書籍」を搭載している場合、搭載数を（4）にご記入ください。

- (1) 「独自資料」を搭載している
- (2) 「地元電子書籍」を搭載している
- (3) 「独自資料」「地元電子書籍」は搭載していない
- (4) 「独自資料」「地元電子書籍」を搭載している場合、搭載数をご記入ください（搭載数記載）
搭載数 []件

Q31【質問 3-16】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の電子書籍（コンテンツ）の費用をどのような予算項目としていますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

※わかる範囲、選択できる範囲で結構です

- (1) 需用費（消耗品費）
 - (2) 役務費
 - (3) 委託料
 - (4) 使用料・賃借料
 - (5) 指定管理料
 - (6) 負担金（広域電子図書館負担金）
 - (7) 補助及び交付金
 - (8) 備品購入費（図書購入費）
 - (9) その他（記載）
-

Q32 【質問 3-17】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

紙の書籍（雑誌含む）購入費と電子書籍（電子雑誌含む）コンテンツ費用の合計に占める、電子書籍（電子雑誌含む）コンテンツ費用の割合について、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 5%未満
 - (2) 5%以上 10%未満
 - (3) 10%以上 20%未満
 - (4) 20%以上 30%未満
 - (5) 30%以上
 - (6) その他（記載）
-

Q33 【質問 3-18】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の認知度向上のための広報活動や、利用促進活動について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 自治体の Web サイトでの、電子書籍サービスへのリンク（図書館へのリンク含む）を掲出
 - (2) 自治体広報誌への案内掲載（定期・不定期）
 - (3) 自治体及び図書館の公式 SNS や公式動画サイトを用いた情報発信
 - (4) 図書館内での利用登録案内やポスターの掲出
 - (5) 図書館内でのデモ体験会や利用説明会の開催（定期・不定期）
 - (6) 図書館以外の施設へのポスター掲示
 - (7) 図書館以外の施設へ出向いての利用登録キャンペーンの実施（電子書籍サービス利用体験会等）
 - (8) 自治体内の学校の生徒・学生への ID 提供
 - (9) その他、貴館で行っている「電子書籍サービスの広報・利用促進活動」がありましたらご記入ください
-

Q34 【質問 3-19】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」の運営やコンテンツに関する費用についてどのような予算、工夫をされていますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 図書館予算のみで行い、電子書籍サービスの運営に関してその他の工夫していることはない
 - (2) 地元企業に寄附の依頼を行っている
 - (3) 団体（PTA、卒業生 OB・OG 会等含む）に寄附助成の依頼を行っている
 - (4) ふるさと納税やクラウドファンディングの活用
 - (5) 公的な助成金・交付金等を受けて、電子書籍サービスを導入した
 - (6) 公的な助成金・交付金等を継続的に受けて、電子書籍サービスを運営している
 - (7) その他、電子書籍サービスの運営、電子書籍費用について（2）～（6）以外の工夫を行っている場合ご記入ください
-

Q35 【質問 3-20】

電子書籍サービスを導入している図書館にうかがいます。

電子書籍サービス利用者登録において、「電子申請システム」を活用しての利用者登録をおこなっていますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

※学校の児童生徒の新規利用者登録を除きます。

- (1) 図書館に来館しなくても Web（メール）で利用の登録ができる利用者登録「電子申請システム」を活用して利用者登録を行っている（新規に電子書籍サービス利用者番号を発行）
 - (2) 図書館利用者がすでに持っている図書館利用者登録番号で電子書籍サービスが利用できる（Web の「利用者登録システム」で利用登録設定する）
 - (3) 電子書籍サービスを利用する場合図書館に来館して新規に登録する必要がある
 - (4) その他（記載）
-

【４】「電子書籍サービス」を導入していない図書館への質問

Q36 質問 4-1～Q40 質問 4-5 は、電子書籍サービスを導入していない図書館（Q9 質問 2-1 で（1）を選択していない図書館）の方が教えてください。

※電子書籍サービスを導入している図書館（Q9 質問 2-1 で（1）を選択）している方は、Q36 質問 4-1～Q40 質問 4-5 は回答しなくて結構です。

Q36 【質問 4-1】

・Q11 質問 2-3 で（1）（2）の「電子書籍サービスを導入する予定がある・検討中」を選択した図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」導入開始時期について、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- （1） 令和 7 年度中（2025 年度）
 - （2） 令和 8 年度（2026 年度）
 - （3） 令和 9 年度（2027 年度）以降
 - （4） 電子書籍サービスを導入する計画はあるが時期は未定
 - （5） その他（記載）
-

Q37 【質問 4-2】

・Q11 質問 2-3 で（3）「電子書籍サービスを導入する予定はない」を選択した図書館にうかがいます。

「電子書籍サービスを導入する予定はない」理由について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- （1） 電子書籍サービスを導入する予算問題
 - （2） 図書館利用者からの問い合わせがない
 - （3） 電子書籍サービスを運営する担当者の問題
 - （4） 首長（市長・町村長等）や議会からの要望がない
 - （5） 電子書籍サービスの導入計画はあるが予算化されていない
 - （6） その他（記載）
-

Q38 【質問 4-3】

電子書籍サービスを導入していない図書館にうかがいます。

「電子書籍サービス」を新規に導入するための課題について、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- （1） 電子書籍サービス導入予算の確保
- （2） 担当部署、担当者の問題

- (3) 図書館利用者からのニーズ
 - (4) 電子書籍サービスの導入に対する費用対効果
 - (5) 電子書籍サービスで提供される電子書籍コンテンツ
 - (6) 電子書籍サービスが継続されるかどうか（サービス中止に対する不安）
 - (7) 電子書籍サービスを導入するための十分な知識（経験）がない
 - (8) 電子書籍サービスを選択する場合の基準や方法がわからない
 - (9) 利用者に対する電子書籍サービスの説明
 - (10) 他の自治体との広域連携による電子書籍サービス
 - (11) その他（記載）
-

Q39 【質問 4-4】

・Q38 質問 4-3 で (5)「電子書籍サービスで提供される電子書籍コンテンツ」を選択した図書館にうかがいます。

電子書籍コンテンツに関する懸念事項について、選択肢から選択ください（複数選択可）

- (1) 提供されている電子書籍コンテンツ（以下、コンテンツ）のタイトル数が少ない
 - (2) 新刊のコンテンツが提供されにくい
 - (3) コンテンツの規格がわかりにくい
 - (4) コンテンツのライセンス価格が高い
 - (5) コンテンツ購入費用の会計処理の基準
 - (6) コンテンツを閲覧するビューアが自由に選べない
 - (7) コンテンツの選書基準
 - (8) その他（記載）
-

Q40 【質問 4-5】

電子書籍サービスを導入していない図書館にうかがいます。

電子書籍サービスを導入するには、どのような支援・協力が必要だと思いますか、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 都道府県立図書館の支援・共同運営
 - (2) 広域図書館連携による運営
 - (3) 特に支援・協力なしで独自で運営
 - (4) その他（記載）
-

【５】 「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」への対応について

※「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」（以下、「図書館送信サービス」と）は、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を全国の公共・大学図書館等の館内で利用できるサービスのことを言います

Q41 【質問 5-1】

「図書館送信サービス」への対応について、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 申し込んで、閲覧・複写サービスを開始している
 - (2) 申し込んで、閲覧サービスのみ開始している
 - (3) 令和7年度（2025年）中に申し込みをする予定で検討している
 - (4) 令和8年度（2026年）以降に申し込みをする予定で検討している
 - (5) 現在のところ申し込む予定はない（差し支えなければ（6）に理由をご記入ください）
 - (6) その他（記載）
-

Q42 【質問 5-2】

・Q41 質問 5-1 で（1）（2）を選択した方にうかがいます。

図書館送信サービスを開始して感じる利点について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) より多くの資料を提供できるようになった
 - (2) 新たな図書館利用者の開拓につながった
 - (3) 図書館利用者のニーズに即した資料をより適切に提供できるようになった
 - (4) より迅速に資料を提供できるようになった
 - (5) 全文テキスト検索により情報を探しやすくなった
 - (6) 相互貸借を減らすことができた
 - (7) 利用者端末の有効活用につながった
 - (8) その他（記載）
-

Q43【質問 5-3】

・Q41 質問 5-1 で (1) (2) を選択した方にうかがいます。

図書館送信サービスを開始して感じる課題について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 利用が少ない
 - (2) 必要な資料・魅力的な資料が少ない
 - (3) 操作方法に工夫・改良の余地がある
 - (4) 運用・管理が煩雑である
 - (5) 設備や要員に係る負担が大きい
 - (6) 複写物の提供に係る判断が難しい
 - (7) 利用者への広報の仕方がわからない
 - (8) 特に課題はない
 - (9) その他（記載）
-

Q44【質問 5-4】

・Q41 質問 5-1 で (1) (2) を選択した方にうかがいます。

「国立国会図書館 個人向けデジタル化資料送信サービス」（以下、「個人送信サービス」）の開始（令和 4 年 5 月 19 日～）に伴う「図書館送信サービス」への影響について、選択肢からご選択ください（複数回答可）

※「個人送信サービス」とは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を、インターネットを通じて自身の端末（パソコン、タブレット）等で利用できるサービスのことを言います

- (1) 「個人送信サービス」の開始後に「図書館送信サービス」の利用が増加した
 - (2) 「個人送信サービス」の開始後に「図書館送信サービス」の利用が減少した
 - (3) 特に影響はない
 - (4) その他（記載）
-

Q45【質問 5-5】

・Q41 質問 5-1 で (1) (2) を選択した方にうかがいます。

「個人送信サービス」開始後の「図書館送信サービス」の位置付け（利用案内の優先度等）について、選択肢からご選択ください（複数回答可）

- (1) 見直しを行った（差し支えなければ (4) に見直し内容をご記入ください）
 - (2) 見直しを検討している（差し支えなければ (4) に見直し内容をご記入ください）
 - (3) 特に変更はない
 - (4) その他（記載）
-

Q46【質問 5-6】

すべての図書館の方にうかがいます。

「図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会」（事務局：国立国会図書館）が作成した「電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン」（以下、「アクセシビリティガイドライン」）を知っていますか、当てはまるものについて選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 「アクセシビリティガイドライン」についてわからない（知らない）
- (2) 「アクセシビリティガイドライン」の名称を聞いたことがあるが、具体的な内容は分からない
- (3) 新しく電子図書館サービスを調達・導入するための調達仕様を検討するために「アクセシビリティガイドライン」を利用した
- (4) すでに導入している電子図書館のアクセシビリティ対応状況を確認するために「アクセシビリティガイドライン」を利用した
- (5) 電子図書館のアクセシビリティについて理解を深めるために「アクセシビリティガイドライン」を利用した

【6】自治体 ICT 利用、学校連携について

Q47【質問 6-1】

貴館の自治体における、自治体総合計画の ICT 活用（自治体 DX 推進計画等を含む）において「電子図書館」の導入・活用が明記されていますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 自治体総合計画の ICT 活用（自治体 DX 推進計画等を含む）に「電子図書館」が明記されている
 - (2) 自治体総合計画の ICT 活用（自治体 DX 推進計画等を含む）に「電子図書館」は明記されていない
 - (3) その他（記載）
-

Q48【質問 6-2】

貴館の図書館の運営方式（直営、指定管理業者等）について、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 自治体の図書館運営はすべて自治体直営で運営している
 - (2) 自治体の図書館運営についてすべて指定管理業者が運営している
 - (3) 直営と一部指定管理が混在
 - (4) 直営と一部業務委託が混在
 - (5) 直営と一部指定管理と一部業務委託が混在している
 - (6) その他（記載）
-

Q49【質問 6-3】

貴館で「電子書籍サービス」や「オンラインで地域資料の提供」を行っている場合、自治体内の学校（小中高校等）との連携内容について、選択肢からご選択ください（複数選択可）

- (1) 「電子書籍サービス」を利用した学校での読書活動推進（朝読等）
 - (2) 図書館がインターネットで提供する「地域資料」の学校での利用推進
 - (3) 「電子書籍サービス」や「地域資料」について学校での利活用は行っていない
 - (4) その他、学校連携、児童生徒向けの電子図書館サービスの利活用の具体例がありましたらご記載ください
-

Q50【質問 6-4】

電子書籍サービスを導入して、地域学校の児童・生徒の利用を推進している図書館にうかがいます。
電子図書館サービスの児童・生徒用の ID 付与について、どのように行っていますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 公共図書館での発行した電子図書館サービスの ID を付与
 - (2) 学校側で発行した児童・生徒用の電子図書館（電子書籍利用）サービスの ID を公共図書館で登録
 - (3) その他
-

Q51【質問 6-5】

電子書籍サービスを導入して、地域学校の児童・生徒の利用を推進している図書館にうかがいます。
電子図書館サービスの利用を進めるにあたって、学校（図書館）から出る課題・質問について、選択肢からご選択ください（複数回答）

- (1) 学校の授業等での電子書籍の利用
 - (2) 電子書籍サービスの利用方法
 - (3) 学校側が希望する電子書籍が少ない
 - (4) その他
-

Q52【質問 6-6】

地域学校の児童・生徒の利用する GIGA 端末（一人一台端末）の利用についてうかがいます。
児童・生徒は GIGA 端末を自宅に持ち帰れますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 児童・生徒は GIGA 端末を全校一律に自宅に持ちかえることができる
- (2) 児童・生徒が GIGA 端末は全校一律に持ちかえることができない
- (3) 児童・生徒が GIGA 端末を持ちかえられるか否か、学校によって差異がある

Q53 【質問 6-7】

電子書籍サービスを導入して、地域学校の児童・生徒の利用を推進している図書館にうかがいます。
電子図書館サービスを導入して、公共図書館の利用が変化しましたか、選択肢からご選択ください（複数選択）

- (1) 公共図書館の児童・生徒向けの本の貸出が増えた
 - (2) 公共図書館への児童・生徒の来館が増えた
 - (3) 公共図書館の児童・生徒の利用・来館の変化はない
 - (4) その他
-

【7】その他

Q54 【質問 7-1】

貴館において、図書館で利用者が使える Wi-Fi サービスを提供していますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

- (1) 図書館で利用者が使える無料の Wi-Fi サービスがある
 - (2) 図書館には利用者が使える Wi-Fi サービスはない
 - (3) その他（記載）
-

Q55 【質問 7-2】

・Q9 質問 2-1 で (1) 「電子書籍サービスを導入している」を選択した図書館にうかがいます。
自治体でスマートフォン利用教室を実施している場合、その教室で電子図書館サービスを紹介していますか、選択肢からご選択ください（複数選択）

- (1) 自治体のスマートフォン教室で電子図書館サービスを紹介している
 - (2) 自治体のスマートフォン教室で電子図書館サービスを紹介していない
 - (3) 自治体でスマートフォン教室をやっていない、やっているかわからない
 - (4) その他（記載）
-

Q56 【質問 7-3】

「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとして利用・利用の検討をしていますか、選択肢からご選択ください（一つ選択）

※電子図書館利用に限定しません

- (1) 「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとして利用している
- (2) 「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとして利用を検討中（現在は利用していない）
- (3) 「マイナンバーカード」を図書館利用者カードとしての利用・利用検討はしていない

Q57 【質問 7-4】

その他、全体を通してご意見・ご要望がございましたらご記入ください（記載）

【終】